

<言語資料>

琉球歌劇「親阿母」の文法注釈付きテキスト

西 岡 敏

前稿の「琉球歌劇『仲直り三良小』の文法注釈付きテキスト」に引き続き、本稿では、まず、琉球歌劇の最も初期の小品である「親阿母」(作者不詳)の活字テキスト4つを提示する。参照した活字テキストの4つは次の通りである。

1. 「ウヤンマー チョーギン (UYAMMĀ CHŌ-GING)」

Basil Hall Chamberlain 1895

Essay in Aid of a Grammar and Dictionary of the Luchuan Language, pp. 181-187

『世界言語学名著選集 第Ⅱ期 東アジア言語編 第1巻』ゆまに書房 1999

原文は、英国出身の言語学者、B. H. チェンバレンによるローマ字ベースの音声表記で、それを本稿ではカタカナ表記にして提示する。

カタカナ表記は『沖縄語の入門』(西岡敏・仲原穰2000)にならう(以下同じ)。本稿では、チェンバレンの雅号を用いて、『王堂本』と略称する。

なお、邦訳書として、

山口栄鉄〔編訳〕1976 チェンバレン〔著〕『日琉語比較文典』琉球文化社(再版有)(pp. 174-179が歌劇「うやあんまあ物語」の台詞の部分)がある。

2. 「親あんま」(『琉球の名作歌劇』所収、pp. 143-147)

仲井真元楷〔監修〕・滝原康盛〔編〕1985『琉球の名作歌劇』琉球音楽楽譜研究所

本稿では『滝原本』と略称する。

3. 「親あんま」(『琉球芸能全集 琉球の民謡と舞踊Ⅰ』所収、pp. 106-112)

島袋盛敏 1956『琉球芸能全集 琉球の民謡と舞踊Ⅰ』おきなわ社

本稿では、『島袋本』と略称する。

なお、この活字テキストとほぼ同じものが、

「親あんま」(『日本庶民文化史料集成 第11巻 南島芸能』所収、pp. 437-438)

藝能史研究会〔編〕1975『日本庶民文化史料集成 第11巻 南島芸能』三一

書房

および

「親阿母」(『沖縄文学全集 第10巻 戯曲 I』所収、pp. 006-008)

沖縄文学全集編集委員会 [編] 1995『沖縄文学全集 第10巻 戯曲 I』国書刊行会である。これらはどちらも『島袋本』を底本としている。

4. 「歌劇 親あんまー (上)」、「歌劇 親あんまー (下)」(『昭和戦前・戦後 黄金期の名人が甦る 沖縄民謡大全集』CD解説書所収、pp. 17-18)

普久原恒勇 [監修]・マルフレコード [音源提供] 2007《昭和戦前・戦後 黄金期の名人が甦る 沖縄民謡大全集》日本音声保存 [企画・制作]・株式会社エニー [発売]

本稿では『普久原本』と略称する。

これらのうち、『普久原本』には実演の録音音声があり、解説書に書かれてある歌詞とは異なるところもあるので、録音音声を書き起こしたテキスト(「書き起こし」テキスト)も提示し、更に文法注釈(グロス)を付す。録音音声の「書き起こし」は、上記の「4.『歌劇 親あんまー (上)』、『歌劇 親あんまー (下)』」、すなわち、《昭和戦前・戦後 黄金期の名人が甦る 沖縄民謡大全集》のディスク2 (CD) に収められている2つの音源トラック(ディスク2の最後の2曲)を元に行った。この録音は、元来はSP盤だったものが、2007年にCD化されたものである。

1. 「歌劇 親あんまー (上)」(CD《昭和戦前・戦後 黄金期の名人が甦る 沖縄民謡大全集》「CD 2 農村早起き～親あんまー」所収、トラック11、3分16秒)
2. 「歌劇 親あんまー (下)」(CD《昭和戦前・戦後 黄金期の名人が甦る 沖縄民謡大全集》「CD 2 農村早起き～親あんまー」所収、トラック12、3分24秒) 両トラックとも、演者は、多嘉良朝成・多嘉良カナ子・多嘉良キク子。多嘉良朝成が、男性三役の、在藩奉行・船頭比嘉・下男三郎を一人で演じ分けている。

ただし、この録音はSP盤片面の時間内(3分半)に収めるためか、他のテキストと比べると、一部が省略されていたり(特に歌の部分)、セリフの順序が入

れ替わったりしているところがある。特に、省略部分について、文法注釈（グロス）を付せずにおくことは忍び難いので、記載において省略が比較的少なく、沖縄語の音声をそのまま写し出すことに比較的配慮がなされている『滝原本』のテキストについても、想定される音韻記号を付し、更に文法注釈（グロス）を付すこととする（再編テキスト）。ただし、他のテキストが良いと判断される部分については、注記することとした。

「文節分け」および「文法注釈（グロス）」は、前稿の「琉球歌劇『仲直り三良小』の文法注釈付きテキスト」の方式にならう。音韻記号は基本的には『沖縄語辞典』（国立国語研究所1963）の方式にならうが、ヤ行の「イィ」「エェ」は / ji / / je /、ワ行の「ウゥ」は / wu / などとして、アポストロフィを省略して表記する。また、『沖縄語辞典』でセディーユ付きの記号は大文字の英字（半角）で略記する。

劇中の音楽として、しやうんがない節（シヨンガネー節）、小浜節が用いられているが、その歌詞の類歌については、『琉歌全集』（島袋盛敏・翁長俊郎1968）の歌番号によって示すこととする。

- 国立国語研究所 [編] 1963 『沖縄語辞典』 大蔵省印刷局
島袋盛敏・翁長俊郎 1968 『標音評釈 琉歌全集』 武蔵野書院
西岡敏・仲原穰 2000 『沖縄語の入門—たのしいウチナーグチ—』
伊狩典子・中島由美 [協力] 白水社
西岡敏 2019 「〈言語資料〉琉球歌劇「仲直り三良小」の文法注釈付きテキスト」
『沖縄国際大学日本語日本文学研究』24(1)、pp. 1-40

◎文法注釈（グロス）略号一覧

略号	英語	日本語
1	first person	一人称
2	second person	二人称
ABL	ablative	奪格
ADD	additive	累加

ALL	allative	方向格
ATTR	attributive	連体
CAUS	causative	使役
CEX	counter expression	逆接
CNC	concessive	讓歩
COM	comitative	共格
COMP	complimentizer	補文標識
COND	conditional	条件
COP	copula	コピュラ
CSL	causal	原因・理由
DAT	dative	与格
DIM	diminutive	指小
EMP	emphasis	強調
EPST	experiential past	経験過去
FOC	focus	焦点
GEN	genitive	属格
HON	honorific	尊敬
HS	hear-say	伝聞
IMP	imperative	命令
IND	indicative	直說法
INF	infinitive	連用
INTJ	interjection	感動詞
IRCN	irrealis conditional	未然条件
LMT	limitative	限界格
NEG	negative	否定
NMLZ	nominalizer	名詞化
NOM	nominative	主格
NPST	non-past	非過去
PASS	passive	受身
PEJ	pejorative	輕蔑
PL	plural	複数

POL	polite	丁寧
POT	potential	可能
PRF	perfect	完了
PRH	prohibitive	禁止
PROG	progressive	進行
PROS	prospective	展望
PST	past	過去
PURP	purposive	目的
Q	question marker	疑問マーカー
QT	quotative	引用
RCN	realis conditional	已然条件
RSL	resultative	結果
SEQ	sequential	繼起
SFP	sentence final particle	終助詞
SG	singular	単数
SLFQ	self-question	自問
TOP	topic	主題
VOL	volitional	志向

I. 「親阿母」テキストの提示

『王堂本』(1895)

シンドウー :

ワンドウ

シンドウー フィジャードウ ヤル。

カゼー ンマヌファ フチツィミティ、

イー ジュンプー ナトーレー、

フェーク ウゼーバンヌメー ツワンネーツシ

ウヌイツィチミショーラシュルグトウ

シュン。

サリー ウゼーバンヌメー

ゼーバン :

ターガ?

シンドウー :

シンドウー フィジャーデービル。

『滝原本』(1985)

登場人物

在^{ママ}香奉行 八重山在^{ママ}香奉行

親あんま 奉行の現地妻

三良小 息子

三郎 下人

船頭比嘉

見送人 大勢

(セ リ フ)

船頭 :

此^くりや 御^ぐ在^え番^{ばん}ぬ^め前^めぬ

御^ぐ乗^{じやう}船^{しん} 船^{しん}頭^ど やる

風^かや 干^{うん}未^まぬ^ち方^じ 吹^ふち^わち^ふみ^て

良^あい 御^ぐ順^{じゆう}風^{ぶう} な^あと^んう^えれ^え

御^ぐ在^え番^{ばん}ぬ^め前^め 御^ぐ案^{あん}内^ねし

今^ち日^{ゆう}、御^う乗^ぬい^ち付^ちき^ちみ^ちし^ちょう^ちら^ちし^ちゆる^ちる^ちぐ^ちとう

し^ちゆ^ちん。

さり

在番 :

誰^たが^だや^やあ

船頭 :

船^{しん}頭^どだ^だや^やび^びる。

『島袋本』(1956)

人物

在番奉行 首里から八重山に出張勤務

親あんま 奉行の妾

三良小 子供

三郎 下人

船頭比嘉

見送男女 大勢

船頭：

これや、御在番の前の

御乗船 船頭ど やる。

風や 午未ぬ方 吹きつめて、

良い 御順風 なたうれ、

御在番の前 御案内し、

今日 御乗り付き召しやうらしゆるごと
しゆん。

船頭：

さり。

在番：

誰がやあ。

船頭：

船頭だやべる。

『普久原本』(2007)

①歌劇 親あんまー (上)

歌と独特な抑揚の台詞を取り混ぜた楽劇。八重山在番奉行が任期切れで沖縄へ旅立つこととなり、現地妻と、その間に生まれた子との別れを惜しむ悲恋劇。在番奉行、船頭、下男の三役を多嘉良朝成が見事に演じ分けている。明治二十年頃の作といわれるが、作者不明。在番奉行＝薩摩藩の出先機関である仮屋の長。(参考資料：沖縄大百科事典：沖縄タイムス社発行)

船頭：

此りや 御在番ぬ前

御乗船、船頭 比嘉どう やゆる

風ぬ 午未ぬ方 吹ちちみてい、

良い 順風 なとうれえー

御在番ぬ前 御案内し、※(誤入→@)

急じ 御乗り付きみしえーらしゆる事
すん。

(船頭：@

(さり 御在番ぬ前 さり 御在番ぬ前)

在番：

誰がやー

船頭：

船頭、比嘉だやびる。

在番：
ち せい
来い 船頭
うち かい い
内んかい 入れえ

船頭：
うゝ。

ゼーバン：
チャーシ チャガ？

在番：
ちやあし 来やが

シンドウー：
サリー！
カゼー ンマヌファ フチディシミティ、
イー ジュンプー ナトーヤビーレー、
フェーク ウヌイツィチミシェービリ。

船頭：
さり 御在番ぬ前
風や 午未ぬ方 吹ちちみて
良い 順風 なとうやびいれえ
今日、御乗り付き召せえいびれえ

ゼーバン：
エェー！ シンドウー、
ウヤンマー カタズイキガタン マーダ ヤスィガ、
ナー ニサンニチェーチョーン マタリーヤ サニ？

在番：
いえ 船頭
親あんま達 片付方ん 未だ やしが
なあ 二、三日や 待たりいや さに

シンドウー：
サリー！ クリフドウヌ ジュンプー
ウクリテー シナビラン。
フェーク ウヌイツィチミシェービリ。

船頭：
さり、此り程ぬ 順風
遅りてや しまびらん
早く 御乗り付き召せえいびれえ。

ゼーバン：
エェー！ アニー？

在番：
えゝ、あにい

シンドウー：
エェー！ サンドウー！

船頭：
いえ 三郎

在番：
来い 船頭、
内んかへ 入れ。

在番：
来い 船頭、
内んかい 入れえー

船頭：
うー。

在番：
船頭、きやあす 来やが。

如何し 来が 船頭

船頭：
さり 御在番の前、
風や 午未の方 吹きつめて
良い 順風 なたうやべれ、
今日 御乗り付き召しやいべれ。

船頭：
さり、
風や 午未方、吹ちちみてい
良い 順風 なとうやびいれえ、
急じ 御乗り付き御召しえーびり

在番：
いえ 船頭、
親あんまた 片付方も、未だ やすが、
にや 二三日や、待たれや さね。

在番：
いえー 船頭、
親あんまー達 片付き方ん 未だ やしが
なー 二三日えー、日延びぬや なえー さに

船頭：
さり、これ程の 順風、
おくれてや、すみやべらぬ。
早く 御乗り付き召しやいべれ。

船頭：
さり、是り程ぬ 順風、
遅りていや しまびらん
急じ う乗り付き召しえーびり

在番：
え、あにい。

在番：
エー、あにー

船頭：
いえ 三郎、

船頭：
いえー 三郎

ウヤンマーターン ンジンショーラチ 親あんま^{うや たあ い}達ん 出ぢんしょうらち
ウシャク トウンショーラシ。 早く^{ふえ} 御酌^{うしやく} 拌^{をが}みんしょうらせえ。

(小 浜 節)

ウチナーカイ イメーネー、 沖繩^{うちなほ}かい いもうらは
ワヌン ソーティ イモーリ！ 我身^{わみ}ん 添^そうて いもうり
ワン フィチュイ ヌクチ、 我身^{わみ} 一人^{ひちゆい} 残^{ぬく}ち
イメーヌ ナユミ？ い参^めぬ なゆみ

(セ リ フ)

親あんま：
此^くりまで 御側^{うすば} なり染^すみて
今日^{ちゆう} 御乗^{うぬ}い付^ちき召^みせえいんで 云^いれえ
我^わんねえ ちやあし 暮^{くら}しやびが

在番：
汝^{いやあ}が あん 云^いれえ
我^わんねえ ちやあし 行^いちゆが

(シヨンガネー節) 歌：

暇^{いとまぐい}乞^みん 召^みせえいら
かにてど 召^みせえいる
今日^{ちゆう} 御^うに 船^{いんぢ} 出^いりば
物^{むぬ}ん 云^いやらん

(セ リ フ)

シンドウー： 船頭^{せんとう}：
とう 三^{さん}郎^{らう}
フェーク ウサカズィチ タティリ。 早く^{ふえ} 御^う盃^{さかぢち} 立^たてれえ

サンドウー： 三郎^{さんらう}：

親あんまたも、出ぢんしやうらち、
早く 御酌 拝みんしやうらせ。

親あんま一達、出じんしょうらち
早く 御酌 拝みんしょうらし。

(歌 小浜節)

沖繩かへ いまうらは
我身も そて いまうれ
我身 一人 残ち
い参いの なゆめ

●小浜節 アンマー：
沖繩かい いめら
我身ん 添うてい いもり
我身 一人 残ち
いめぬ なゆみ ヨンナー

親あんま：

これまで 御側 なれそめて、
今日 お乗り付き召しやいで 言へ、
わんね、きやあす 暮らしやべが。

●シヨングネー節 アンマー：
此んなげくぬ 自由 御側 なり染みてい
今日 御出んでい 言みそれー
我んね 如何し 暮らしびが

在番：

汝が、あん 言へ、
わんね きやあす 行きゆが。

在番：

汝が あん 云れえ、
我んね ちゃーし 暮らしが

(歌 しやうんがない節)

暇乞も 召しやいら、
かねてど 召しやいる
今日 お船 出れば
ものも 言やらん

船頭：

たう 三郎、
早く 御盃 立てれ。

とう、三郎
早く 御盃き 御立てっし

三郎：

三郎：

トー！ ウヤンマーン
アーシューン
ウサカズイチ トウンショーリ。

とう ^{うや}親あんま
御側 ^{うすば}に いもうち
早く ^{ふえ} 御酌 ^{うしやく} 拝 ^{をが}みんしょうり

イトウマガイユ トウムティ
ムッチャル サカズイチヤ、
ミーナダアワ ムラチ、
ヌミン ナラン。

(シヨングネー節) 歌：

いとまぐい ^む暇乞ゆ と ^む思て
持 ^むつちやる ^{さかちち} 盃や
なみだ ^{なみだ}あわ ^む涙泡 ^む盛 ^ぬらち
飲 ^ぬみぬ ^ぬならん

サンドウー：
エェー、ウヤンマー！
シュヌメーガ ウチナー イメンショーレー、
ビングトウ ウチャ タンムヌンデー
ウムタシミシェンドー、ウヤンマー！

(セリフ)

三郎：
いえ ^{うや}親あんま
主 ^{しゅ}ぬ ^{めえ}前が ^{うちなあ}沖繩かい ^めい ^め参んしょうれえ
便 ^{びんぐと}毎に ^みみちじん
御 ^う持 ^むたし ^む召 ^むせえ ^むいんどう ^{うや}親あんま

ウヤンマー：
ウヌ クトウン ウマーランドー、サンドウー。

みちじぬ ^{くと}事ん ^{うむ}思 ^{さんろう}らんどう 三郎

イトウマガイン シュラワ、
カニティウウティ ミショリ！
キュ ディブニ ナリバ、
ムヌン ヤラン

(シヨングネー節) 歌：

じ ^じり ^{わか}ぬ ^じ別 ^じり ^じ路 ^やや、
か ^かにん ^ちり ^なな ^ささ ^みみ
あ ^あさ ^ゆゆ ^{うむかじ}朝夕 ^{うむかじ}面影 ^やや
い ^いち ^ち何時 ^{かん}ん ^ぬぬ ^{かん}かん

ゼーバン：
マツイーグワーヤ！ ターリーガ ウチナー イカワ、
ビングトウ カビ フディン
ソービンカラ ムタチ ヤラシュクトウ、

(セリフ)

在番：
さん ^{さん}で ^えぐ ^わわ ^{うちなあ}三 ^い良 ^い小 ^かや ^いター ^いリー ^いが ^い沖 ^い繩 ^いかい ^い行 ^いか ^いば
し ^しみ ^ふふ ^かか ^いび ^いし ^ちし ^はは ^だだ ^んん ^ん三 ^ん良 ^ん小 ^んや ^んター ^んリー ^んが ^ん沖 ^ん繩 ^んかい ^ん行 ^んか ^んば
墨 ^{すみ}筆 ^{ふで}紙 ^{かみ}衣 ^い裳 ^し着 ^ち肌 ^はん ^だん
早 ^{はや}船 ^{ふね}から ^む持 ^むたち ^むや ^らし ^しゆ ^くくと

たう 親あんま、
御側に いまうち、
早く 御酌 拝みんしやうれ。

(歌 しゃうんがない節)

暇乞よ ともて
持ちちやる 盃や
涙泡 盛らち、
飲みも ならぬ

三郎：

いえ 親あんま、
主の前が 沖繩かへ い参んしやうれ、
便毎に みつぎも、
御持たし召しやいんだう、親あんま。

親あんま：

みつぎの ことも、思らんだう 三郎。

(歌 しゃうんがない節)

義理の 別れ路や、
かにも つれなさめ
朝夕 おもかげや
いつも のかぬ

在番：

さんで たあれい
三良小や、大令が 沖繩かへ 行かば、
墨 筆 紙、衣裳 着肌も
早船から 持たち やらしゆこと、

とう、親あんまー
いす うすば
急じ 御側に いもうち、
うしやく うが
御酌 拝みんしょうり

●シヨンガネー節

いとまぐ
暇乞い とうむてい
む さかじち
持ちちやる 盃
なみだ
涙あわ むらち
ぬ
飲みぬ ならぬ

マ マ
船頭 (三郎)：

いえー、親アンマー
す めえ うちな み
主ぬ前が 沖繩かい 召んしょうれ
びんぐとう
便毎 みちぢん
う む
御持たしみせびんどー 親あんまー

アンマー：

みちじぬ 事ん 思まーらんどー 三郎

在番：

さんでえくわ うちなー い
三良小や、ターリーが 沖繩ゆ 行かば
すみ ふでい かび いしょう ちはだ
墨 筆 紙、衣裳 着肌ん
そーびん うく
早船から 送てい 持たすくとう

ヤーヤ アンマートウ ウットーリヨ。 汝^{いやあ}や あんまと 此^く処^ま 居^をと^をうりよう

マツイー：

ワニン ターリートウ ウチナーカイ イチュン。

三良小：

我^わ身^みん ターリーと 沖^{うち}繩^なかい、 行^いち^いゆん

フタツイ ネーン ワミヌ

ナカニ ハサマリテ

ククル ヤミヤミトウ

ナルガ シンチ

親あんなま：

汝^{いやあ}まで 沖^{うち}繩^なかい 行^いけえ
我^わん^んねえ ちやあし 暮^くらし^しゆが

ウヤンマー：

ヤーマディン イケー、

アンマーヤ チャーシ クラシュガ？

(シヨンガネー節) 歌：

二^{ふた}ち 無^なん 我^わ身^みぬ

中^{なか}に はさまりて

心^こく^くる 暗^{くら}やみに

なるが 心^{しん}気^ち

アーシュー：

ウンジュマディン

ウチナーカイ イメンショーレー、

アンマーヤ チャーシ クラサーীগ？

トー クマンカイ

イメンショーリ！

(セ リ フ)

三郎：

うんじゅまでん ターリーと

沖^{うち}繩^なかい い^め参^まんしょうれえ

親^うあ^やまや ちやあし 暮^くらし^しやびいが

とう、うんじゅ 此^く処^まんかい

い^め参^まんしょうり

船頭：

さり、此^くり^{ふど}程^{じゆん}ぬ 順^{ぶう}風

遅^うりてや しまびらん

早^ふく 御^う乗^ぬい^ち付^みき召^めせえいびり。

ゼーバン：

ッヤー！ ナシムヌクッヌ カカレー、

在番：

産^なし者^{むん}ぬ 子^{くわ} ひきわ

い^や 汝や あんまと、こま をたうれやう。

い^や 汝や アンマーとう 此^う処^ま 居^をりよ

三良小：

わ^み 我身も、大令と、沖繩かへ 行きゆん。

マ^マ 三郎（三良小）：

わ^み 我んにん、ターリーとう 沖繩^うん^ちか^ない 行^いち^ゆん

親あんま：

汝^いまで、沖繩^けかへ 行^いけは、
わ^ねね きやあす 暮^くらし^ゆが。

アンマー：

い^やー^まで^い う^ちな 汝^い 迄^なん 沖繩^いか^い 行^いけー
く^ぬ アンマー ち^やー^し 暮^くらし^すが

(歌 しやうんがない節)

二^つ 無^いぬ 我^わ身^みの
中^なに は^さま^れて
心^こ く^らや^みに
なる^が 心^こ気

⑫^かげ^き ⑬^うや 親^うあん^まー (下)

●^ぶし ヨン^ぶガ^ぶネー^ぶ節 在^ぶ番^し：

ふ^た 二^ふち ね^ん 我^わ身^みぬ
中^なに 挟^はま^りて^い
く^くる^くら^やみ^に
心^こ 暗^{あん}闇^に
なる^が 心^{しん}気^ち

三郎：

お^んじ^よ 御^た洞^あまでも、大^た令^{れい}と
沖繩^いかへ、い^い参^まん^しや^うれ、
親^いあん^まや、き^きや^あす 暮^くらし^しや^べいが、
た^う 御^お洞^んは こ^まん^かへ、
い^い参^まん^しや^うれ。

船頭：

さ^り、こ^れ程^の 順^{じゆん}風^{ふう}、
お^くれ^てや す^みや^べら^ぬ、
早^はく 御^ご乗^り付^き召^しや^いべ^れ。

船頭：

さ^り、此^くり^ほど 順^{じゆん}風^{ふう}、
遅^うり^てい^や し^まび^らん、
急^いす 御^ご乗^り付^き召^せび^り。

在番：

産^うし^の 子^こ ひ^けは、

在番：

鳴^あ呼^い、産^うし^の 子^こ ひ^け、

チャーン ナランサ！

ちゃあん ならんさ しんどう 船頭

イチン イカリラン；
ウウティン ウウラリラン；
ナシグウ フヤカリヌ
ムムヌ クリシャ！

(シヨンガネー節) 歌：

い 行ちん い 行かりらん
を 居いん を 居らりらん
な 産し子 ぐわ 振別りぬ
むむ 百ぬ く 苦りしや

シンドウー：
サリー、クマ イメンシエール エエーカー、
イツイマディン ウナグリドゥ
ウウヤミシエール。
フェーク ウタチミシエービリ。

(セリフ)

船頭：
さり、うめんせえる いえだ 間
まで いち迄ん う 御名残りど
う 御立ちみせえる
ふえ 早く う 御立ちみせえいびれえ

イメツィカワ シュヌメ、
グジヨ ムタチ タボリ！
ククル ヤスイヤスイトウ
ウマチ シャビラ。

(シヨンガネー節) 歌：

ふに 船や ちな 綱 と 取ゆい
ん 無蔵や すで 袖 ひ 引ちゆい
いちやし ん 無蔵 し 捨てて
ふに 船に ぬ 乗ゆが
い参い着かば しゆ 主ぬ前
う 御状 む 持たち し たぼり
くる 心 やし 安々と
う 御待ち ま しゃびら

アーシュー：
エエ！ ウヤンマー！ シュヌメーターン
ウヌイツィチミシエール ハジ デームン。
フェーク フナウクイヌ
ティグミ サリンショーリ。

船頭：
いめえぬ かあぢ。

きやあも ならんさ 船頭。

(歌 しやうんがない節)

行きも 行かれらぬ
居ても 居られらぬ
産子 振別れの
百の くれしや

船頭：

さり、おま い参んしやいる 間は、
いつまでも 御名残りど
お立ち召しやいる、
早く 御立ち召しやいべれ。

(歌 しやうんがない節)

船や 綱 取ゆり
無蔵や 袖 引きゆり
いきやし 無蔵 捨てゝ
船に 乗ゆが
い参い着かば 主の前
御状 持たち たばうれ
心 やすゝゝと
お待ち しやべら。

船頭：

いまひの かぢ。

ちゃーん ならんさー 船頭

●シヨンガネー節 在番：

行ちん 行からん
居いん 居ららん
産し子 振別りぬ
百ぬ 苦りさ

船頭：

さり、此処 居めんせーる 間、
永久迄ん 御名残りどう
御立ちみせーる
早く 御立ちみせーびり

●シヨンガネー節

いめ着かば 主ぬ前
御状 持たち 賜り
心 安々とう
御待ち さびら

三郎：

とう、親あんまー、主ぬ前達ん
御乗い付きみしょうちやる はぢ、
急じ 御船送りぬ
手組 さんでいしょうれ

カタフ ムティワ
カタナダ ウトウチ；
ムルフ ムティワ、
ムルミヌ ナダ ウトウチ。

シンドウー：
イマーマヌ カージ。

カリユシヤ イツイン
カリユシドウ ミシエル；
タダ イーチュヌ ツウィカラ
ンジャイ ツイチャイ。

ミサチ ヌイディリワ
ミカジドウ タヌム。
マトウム カジ タボリ、
シンドウ シュヌメ！

タビヌ サトウヤ

(シヨンガネー節) 歌：

かた^ふ 持ち^む ちやぎりば
かた^み 涙^{なだ} 落ち^{うと}
むる^ふ 持ち^む ちやぎりば
むる^み 涙^{なだ} 落ち^{うと}
諸帆 諸目ぬ 涙 落ち

船頭：
いめえぬ かあぢ。

(シヨンガネー節) 歌：

しんどうしゆ
船頭主や
わ 恨^{うら} みらん
ま^{とむ} 押^{うす} 風^{かじ} ど
な^{うら} 恨^{うら} みゆる
真艦 押 風ど
な 恨みゆる

(船頭の声遠くなり、両方とも
手を振りつつ別れを惜しむ)

(シヨンガネー節) 歌：

んなとうち
港内 なりば
いかり 頼^{たぬ} む
す^{とみ} 乗^ぬ い出^だ しば
しんどう 頼^{たぬ} む
船頭ど 頼む

(セリフ)

親あんま：
しゆ^め 前^あ 達^う 御船^に 遠^{とう} く 押^う し出^{いん} だて
す^{とみ} 外海^を ん 拝^を まらん なたるむん
外海ん 拝まらん なたるむん

(シヨンガネー節) 歌：

あがと うちな^あ 沖繩と

(歌 しゃうんがない節)

片帆 持ちやげれば
片目の 涙 落ち
諸帆^{もろほ} もちやげれば
諸目の 涙 落ち。

船頭：

いまひの かぢ。

船頭：

イメーヌ カージ

(歌 しゃうんがない節)

船頭主や
我ね 恨みらぬ
まとも 押風ど
にや 恨みゆる。

●シヨンガネー節^{ぶし}

みさき 乗り出りば
御風どう 頼む
まとうむ 乗てい 給り
船頭主前
かりゆしど

(船頭の声聞えなくなり、陸上と海上と
手を振りつゝ別れる。)

ハリ 主ぬ前よー

(歌 しゃうんがない節)

港内 なれば
いかりど たのむ
外海 のり出せば
船頭ど たのむ

親あんま：

主の前た 御船も、遠く 押し出ちて、
外海も 拝まらん なたるもの。

親あんまー：

主ぬ前^{すー めえたー}達^{うふに} 御船^{とーママ}ん 遠^うし 押し出^いじてい
帆影^{ふかじ}ん 拝^{うが}まらん なとうるむんなー^{しゅー} 主

(歌 しゃうんがない節)

あがと 沖繩と

●シヨンガネー節 アンマー：

旅^{たび}ぬ 主^{しゅー}や

ナマカラ サタ シユナ
スミツイチュン トウミバ
ヌチドウ イメル

くがとぬ ^{ええま}八重山と
^{ちむ}肝ぬ ^{ふりむぬ}や
^{あん}縁ば ^{むし}結で

アーシュー：

シュヌメーター ウニン
ウウガマラン ナトーレー、
フェーク ウヤドウニ イモーチ、
グスージ サリンショーリ！

(セリフ)

三郎：

とう ^{うや}親あんま
^{しゆ}主ぬ ^{めえたあ}前達 ^{うに}御船ん はいくわきて
^{をが}拝まらん なとうれえ
^{ふえ}早く ^{うやど}御宿に ^け帰えて いもうち
^{くしゆうち}御祝儀ぬ ^{てぐみ}手組 しやりんしょうり

シュヌメー フニ ウクティ
ムドウル ミチスイガラ、
フラン ナツィグリヌ
ワ スディ ヌラチ。

(小浜節) 歌：

^{しゆ}主ぬ ^め前 ^{うに}御船 ^{うく}送て
^{むど}戻る ^{みち}道しがら
^ふ降らん ^{なち}夏ぐりぬ
^わ我 ^{すで}袖 ^{ぬらち}ぬらち

ごかとの 八重山と
肝の ふれものや
縁ば 結で

なま
今から きた すな
す
染みなちゃん とうみば
ぬちどう いめる

三郎：

たう 親あんま、
主の前た 御船も、はいくわっけて、
拜まらん なたうれ、
早く お宿に 帰て いまうち、
御祝儀の 手組 しゃれんしやうれ。

(歌 小浜節)

主の前 御船 送て
もどる 道すがら
降らぬ 夏ぐれの
我 袖 ぬらち

II. 「書き起こし」テキスト（グロス付き、『普久原本』CDより）

① ^{かげき}歌劇 ^{うや}親あんまー（上）

1-1. 船頭（セリフ）

クリヤ グゼーバン グジョーシン シンドウー ヒジャードウ ヤル。
 kuri=ja gu-ZeebaN gu-zoosiN siNduu hizaa=du, ja-ru.
 これ=TOP 御-在番 御-乗船 船頭 比嘉=FOC COP-ATTR
 これは在番奉行様がお乗船になる船頭の比嘉である。

カジヤ ッンマヒチジヌファ フチチミティ、
 kazi=ja ?Nma+hicizi=nu-hwa huci+cimi-ti,
 風=TOP 午+未=GEN-方 吹き+詰める-SEQ
 風は、午未（南）の方角から吹きつめて、

イー ジュンプー ナトーレー、
 jii zuNpuu na-toor-ee,
 良い 順風 なる-PROG-RCN
 良い順風になっているので、

グゼーバンヌメー ウアンネーッシ、
 gu-ZeebaN=nu-mee ?u-?aNnee=Qsi,
 御-在番=GEN-前 御-案内=する. SEQ
 在番奉行様を御案内して、

イスジ ウヌイチキミショーラスルグトゥ スン。
 ?isuzi ?u-nui+ciki=misjoor-as-u-ru=gutu s-u-N.
 急いで 御-乗り+付け=HON-CAUS-NPST-ATTR=ように する-NPST-IND
 急いで御乗り付け（御乗船）になってもらうようにする。

サリ、グゼーバンヌメー、サリ、グゼーバンヌメー。
sari gu-ZeebaN=nu-mee sari gu-ZeebaN=nu-mee.
もし 御-在番=GEN-前 もし 御-在番=GEN-前
もし、在番奉行様、もし、在番奉行様。

1-2. 在番（セリフ）

ターガヤー？
taa=ga=jaa?
誰=Q=SFP
誰かのう？

1-3. 船頭（セリフ）

シンドゥー ヒジャーダヤビル。
siNduu hizaa=dajabi-ru.
船頭 比嘉=でございます-ATTR
船頭の比嘉でございます。

1-4. 在番（セリフ）

チー、 シンドゥー、ウチンカイ イレー。
ci=i, siNduu, ?uci=Nkai ?ir-ee.
来る.SEQ=Q 船頭 内=DAT 入る-IMP
来たか、船頭、内に入りなさい。

チャーシ チャガ、 シンドゥー？
caasi ca=ga, siNduu?
どうして 来る.PST=Q 船頭
どうして来たか、船頭？

1-5. 船頭 (セリフ)

サリ、カジヤ ッンマヒチジヌファ フチチミティ
sari, kazi=ja ?Nma+hicizi=nu-hwa huci+cimi-ti
もし 風=TOP 午+未=GEN-方 吹き+詰める-SEQ
奉行様、風は、午未 (南) の方角から吹きつめて、

イー ジュンブー ナトーヤビーレー、
jii zuNpuu na-too-j-abiir-ee,
良い 順風 なる-PROG-POL-RCN
良い順風になっていますので、

イスジ ウヌイチキミシェービリ。
?isuzi ?u-nui+ciki=misee-bir-i.
急いで 御-乗り+付け=HON-POL-IMP
急いで御乗り付け (御乗船) になってくださいませ。

1-6. 在番 (セリフ)

エー、シンドウ、ウヤンマター カタジキガタン ナーダ ヤシガ、
?ee, siNduu, ?ujaNmaa-taa kataziki-gata=N naada ja-siga,
おい 船頭 親あんま-PL 片付け-方=ADD まだ COP-CEX
おい、船頭、親あんま達の片付けのこともまだであるが、

ナー ニサンニチュー ヒヌビヌ ナエー サニ?
naa ni-saN-nicee hi+nubi=nu naj-ee s-an=i?
もう 二-三-日.TOP 日+延べ=NOM なる-INF.TOP する-NEG=Q
もう二三日は、日延べができないのか。

1-7. 船頭 (セリフ)

サリ、クリフドウヌ ジュンプー、ウクリティヤ シナビラン。
sari, kuri-hudu=nu zuNpuu, ?ukuri-ti=ja sin-abir-aN.
もし これ-ほど=GEN 順風 遅れる-SEQ=TOP 済む-POL-NEG
奉行様、これほどの順風、遅れてはなりません。

イスジ ウヌイチキミセービリ。

?isuzi ?u-nui+ciki=miSee-bir-i.
急いで 御-乗り+付け=HON-POL-IMP
急いで御乗り付け (御乗船) くださいませ。

1-8. 在番 (セリフ)

エー、アニー。
jee, ?ani=i.
ほう そう=Q
ほう、そうか。

1-9. 船頭 (セリフ)

エー、サンドウー、ウヤンマーター ッンジンショーラチ、
?ee, saNduu, ?ujaNmaa-taa ?Nzi=Ns joor-aci,
おい 三郎 親あんま-PL 出る=HON-CAUS. SEQ
おい、三郎、親あんま達がお出になるようにさせて (してもらって)、

ヘク ウシヤク ウウガミンショーラシ。

heku ?u-sjaku wugami=Ns joor-as-i.
早く 御-酌 拝む=HON-CAUS-IMP
早く (別れの) 御酌を差し上げなされるようにさせなさい (してもらいなさい)。

1-10. 小浜節（歌） 類歌：『琉歌全集』1072番歌

ウチナカイ イメラ バヌン ソティ イモリ
 ?ucina=kai ?imer-a banu=N so-ti ?imor-i
 沖縄=ALL いらっしゃる-IRCN 1SG=ADD 連れる-SEQ いらっしゃる-IMP
 沖縄へいらっしゃるのなら、私（八重山語）も連れて行ってください。

バナ ヒチュイ ヌクチ イメヌ ナユミ ヨンナー
 banu hicui nuku-ci ?ime=nu naj-u-m=i joNnaa
 1SG 一人 残す-SEQ 御出立=NOM なる-NPST-IND=Q 囃子
 私（八重山語）一人を残して、御出立ができるのですか。

1-11. 親阿母（つらね風）

クンナゲクヌ ジュー ウスバ ナリスミティ、
 kuN=nageku=nu zuu ?u-suba nari+sumi-ti,
 こう-長く=GEN 自由 御-側 慣れ+染める-SEQ
 こんなに長くの間、自由に御側で慣れ染めているのに、

チュー グスツパンディ イミソーレー、
 cuu gu-suQpaN=di ?i=misoor-ee,
 今日 御-出帆=QT 言う=HON-RCN
 今日、御出帆とおっしゃったら、

ワンネー チャーシ クラサビーガ？
 waNnee caasi kuras-abii=ga?
 1SG.TOP いかにして 暮らす-POL=Q
 私はどのようにして暮らすのですか？

1-12. 在番 (セリフ)

ッヤーガ アン ッエエー、ワンネー チャーシ クラシユガ?
 ?jaa=ga ?aN ?j-ee, waNnee caasi kurasj-u=ga?
 2SG=NOM そう 言う-RCN 1SG. TOP いかにして 暮らす-NPST=Q
 お前がそう言ったら、私はどのようにして暮らすのか?

1-13. 船頭 (セリフ)

トー、サンドゥー、ヘク ウサカジチ ウタティッシ。
 too, saNduu, heku ?u-sakazici ?u-tat-i=Qsi.
 さあ 三郎 早く 御-盃 御-立てる-INF=する. IMP
 さあ、三郎、早く御盃をお立て下さい。

1-14. 三郎 (セリフ)

トー、ウヤンマー、イスジ ウ斯巴ニ イモーチ、
 too, ?ujaNmaa, ?isuzi ?u-suba=ni ?imoo=ci,
 さあ 親あんま 急いで 御-側=DAT いらっしやる=SEQ
 さあ、親あんま、急いで御側にいらっしやって

ウシャク ウウガミンショーリ。
 ?u-sjaku wugami=Nsjoor-i.
 御-酌 拝む=HON-IMP
 御酌を差し上げなさってください。

1-15. ションガネー節 (歌) 類歌:『琉歌全集』1296番歌

イトウマグィユ トウムティ ムチャル サカジチ
 ?ituma+gwi=ju tumu-ti mu-ca-ru sakazici
 暇+乞い=SFP と 思う-SEQ 持つ-PST-ATTR 盃
 暇乞いだと思って、持った盃。

ナミダアワ ムラチ ヌミン ナラン
 namida+?awa mura-ci num-i=N nar-aN
 涙+泡 盛らす-SEQ 飲む-INF=ADD なる-NEG
 涙が泡のように溢れ上がって、飲むこともできない。

1-16. 三郎 (セリフ)

エー、ウヤンマー、シュヌメーガ ウチナーカイ イメンジョーレー、
 ?ee, ?ujaNmaa, sjunumee=ga ?ucinaa=kai ?imeNsjoor-ee,
 もし 親あんま 主の前=NOM 沖縄=ALL いらっしやる-RCN
 もしもし、親あんま、御在番様が沖縄へいらっしやったら、

ビングトウ ミチジン ウムタシミセンドー、 ウヤンマー。
 biN-gutu micizi=N ?u-mutasi=miSee-N=doo, ?ujaNmaa.
 便-毎 貢=ADD 御-持たす=HON-IND=SFP 親あんま
 船便ごとに貢物もお送りくださるだろうよ、親あんま。

1-17. 親阿母 (セリフ)

ミチジヌ クトゥン ウマーランドー、 サンドゥー。
 micizi=nu kutu=N ?umaar-aN=doo, saNduu.
 貢=GEN 事=ADD 思う.POT-NEG=SFP 三郎
 貢物のことなど、とても思えないよ、三郎。

1-18. 在番 (セリフ)

サンデーグワーヤ ターリーガ ウチナー イカワ、
 saNdee-gwaa=ja taarii=ga ?ucinaa ?ik-awa,
 三良-DIM=TOP 父=NOM 沖縄 行く-IRCN
 三良小は父が沖縄に行ったら、

シミ フディ カビ、イショー チハダン
simi hudi kabi, ?isjoo cihada=N
墨 筆 紙 衣裳 着物=ADD
墨、筆、紙はじめ、衣裳、着物も

ソーピンカラ ウクティ ムタスクトゥ、
soobiN=kara ?uku-ti mutas-u=kutu,
早便=ABL 送る-SEQ 持たず-NPST=CSL
早船で送って持たせるので、

ッヤーヤ アンマートゥ ッンマ ウウリヨー。
?jaa=ja ?aNmaa=tu ?Nma wur-i=joo.
お前=TOP 母=COM そこ 居る-IMP=SFP
お前はお母さんとここに居なさい。

1-19. 三良小 (セリフ)

ワンニン ターリートゥ ウチナーカイ イチュン。
waNniN taarii=tu ?ucinaa=kai ?ic-u=N.
1SG. ADD 父=COM 沖縄=ALL 行く-NPST-IND
私もお父さんと沖縄へ行く。

1-20. 親阿母 (セリフ)

ッヤーマディン ウチナーカイ イケー、
?jaa=madi=N ?ucinaa=kai ?ik-ee,
2SG=LMT=ADD 沖縄=ALL 行く-RCN
お前までも沖縄へ行ったら、

クヌ アンマーヤ チャーシ クラスガ?
kunu ?aNmaa=ja caasi kuras-u=ga?
この 母=TOP いかにして 暮らす-NPST=Q
この母はどのようにして暮らすのか?

⑫ 歌劇 ^{かげき} 親^{うや}あんまー (下)

2-1. ションガネー節 (歌) 類歌：『琉歌全集』1305番歌

フタチ ネン ワミヌ ナカニ ハサマリティ
hutaci neN wami=nu naka=ni hasam-ari-ti
二つ 無い 1SG=GEN 中=DAT 挟む-PASS-SEQ
二つと無い我が身が、間に挟まれて

ククル クラヤミニ ナルガ シンチ
kukuru kurajami=ni na-ru=ga siNci
心 暗闇=DAT なる-ATTR=GEN 心気
心が暗闇になるような心地であるよ。

2-2. 船頭 (セリフ)

サリ、クリフドゥヌ ジュンプー、ウクリティヤ シナビラン。
sari, kuri-hudu=nu zuNpuu, ?ukuri-ti=ja sin-abir-aN.
もし これ-ほど=GEN 順風 遅れる-SEQ=TOP 済む-POL-NEG
奉行様、これほどの順風、遅れてはなりません。

イスジ ウヌイチキミセービリ。

?isuzi ?u-nui+ciki=miSee-bir-i.

急いで 御=乗り+付け=HON-POL-IMP

急いで御乗り付け (御乗船) くださいませ。

2-3. 在番 (セリフ)

アー、ナシムンヌクワ ヒケー、
?aa, nasimuNnuQkwa hik-ee,
ああ 生みの子 引く-RCN
ああ、生みの子が引いたら、

チャーン ナランサー、 シンドゥー。

caa=N nar-aN=saa, siNduu.

どう=ADD なる-NEG=SFP 船頭

どうにもならないよ、船頭。

2-4. ショングネー節 (歌) 類歌：『琉歌全集』1294番歌

イチン イカラン ウウイン ウウララン

?ic-i=N ?ik-ar-aN wu-i=N wur-ar-aN

行く-INF=ADD 行く-POT-NEG 居る-INF=ADD 居る-POT-NEG

行こうにも行けず、居ように居られず、

ナシグワ フヤカリヌ ムムヌ クリシヤ

nasigwa hujakari=nu mumu=nu kurisja

生みの子 振別れ=GEN 百=GEN 苦しさ

生みの子との別れの、このうえない苦しさであることよ。

2-5. 船頭 (セリフ)

サリ、クマ イメンセール ツウェーダー、

sari, kuma ?imeNSee-ru ?weedaa,

もし ここ いらっしゃる-ATTR 間. TOP

もしもし、ここにいらっしゃる間は、

イチマディン ウナグリドゥ ウタチミセール。

?ici=maDi=N ?u-naguri=du ?u-taci=miSee-ru.

いつ=LMT=ADD 御-名残=FOC 御-立つ=HON-ATTR

いつまでも御名残が立ってお尽きにならない。

ヘク ウタチミセービリ。

heku ?u-taci=miSee-bir-i.

早く 御-立つ=HON-POL-IMP

早くお立ちになってくださいませ。

2-6. ションガネー節 (歌) 類歌:『琉歌全集』1297番歌

イメチカバ シュヌメ グジョ ムタチ タボリ
ʔime+cik-aba sjunume gu-zo muta-ci tabor-i
御出+着く-IRCN 主の前 御-状 持たず-SEQ くださる-IMP

(沖繩に) お出でになって着いたら、御在番様、お手紙を持たせてください。

ククル ヤシヤシトウ ウマチ サビラ
kukuru jasijasi-tu ʔu-mac-i s-abir-a
心 安々と 御-待つ-INF する-POL-VOL

心安々とお待ちしましょう。

2-7. 三郎 (セリフ)

トー、ウヤンマー、シュヌメーターン ウヌイチキミショーチャルハジ。
too, ʔujaNmaa, sjunumee-taa=N ʔu-nui+ciki=misjoo-ca-ru=hazi.
さあ 親あんま 主の前-PL=ADD 御-乗り+付け=HON-PST-ATTR=筈
さあ、親あんま、御在番様たちも御乗り付け (御乗船) になったはず。

イスジ ウフナウクイヌ ティグミ サリンショーリ。
ʔisuzi ʔu-huna+ʔukui=nu tigumi s-ari=Nsjoor-i.
急いで 御-船+送り=GEN 手組み する-HON=HON-IMP
急いで御船送りの手筈を整えるようされてください。

2-8. 船頭 (セリフ)

イメーヌ カージ。
ʔimee=nu kaazi.
今前=GEN 風
さあ、今の風。

2-9. ショングネー節 (歌)

ミサチ ヌイジリバ ミカジドゥ タヌム
misaci nui+zir-iba mi-kazi=du tanum-u
岬 乗り+出る-RCN 御-風=FOC 頼む-ATTR
岬のところまで乗り出れば、御風を頼むのみだ。

マトウム スティ タボリ シンドウシュシメ
matumu nu-ti tabori-i siNdusjusime
真鱸 乗る-SEQ くださる-IMP 船頭主司前
順風に乗ってください、船頭主様。

カリユシドー ハリ シュヌマイヨー
karijusi=doo hari sjunumai=joo
めでたい=SFP 囃子 主の前=SFP
幸あれよ、在番様 (八重山語) よ。

2-10. 親阿母 (つらね風)

シュヌメーター ウーニン トゥー ウシツンジティ
sjunumee-taa ?uuni=N tuu ?usi-?Nzi-ti
主の前-PL 御船=ADD 渡 押し-出る-SEQ
在番様たちの御船も外海に出てしまって、

フカジン ウウガマラン ナートルムンナー、 シュー。
hukazi=N wugam-ar-aN na-too-ru=muN=naa, sjuu.
帆影=ADD 押む-POT-NEG なる-PROG-ATTR=もの=SFP 主
帆影も見えなくなっているよ、あなた。

2-11. ションガネー節 (歌) 類歌:『琉歌全集』1303番歌

タビヌ シューヤ ナマカラ サタ スナ
tabi=nu sjuu=ja nama=kara sata su-na
旅=GEN 主=TOP 今=ABL 沙汰 する-PRH
旅の主のことは、今から噂にはするな。

スミチチャン トウミバ ヌチドゥ イメル
sumi+ci-ca-N tum-iba nuc-i=du ?imer-u
染め+付く-PST-IND と思う-RCN 退く-INF=FOC いらっしやる-ATTR
染め付いた (馴染んだ) と思ったら、もう去っていらっしやる。

III. 再編テキスト (グロス付き、主に『滝原本』より)

3-1. 船頭 (セリフ)

クリヤ グゼーバンヌメーヌ グジョーシン シンドウドゥ ヤル。
kuri=ja gu-ZeebaN=nu-mee=nu gu-zoosiN siNduu=du, ja-ru.
これ=TOP 御-在番=GEN-前=GEN 御-乗船 船頭=FOC COP-ATTR
これは在番奉行様にご乗船になる船頭である。

カジヤ ッンマヒチジヌファ フチチミティ、
kazi=ja ?Nma+hicizi=nu-hwa huci+cimi-ti,
風=TOP 午+未=GEN-方 吹き+詰める-SEQ
風は、午未 (南) の方角から吹きつめて、

イー グジュンプー ナトーレー、
jii gu-zuNpuu na-toor-ee,
良い 御-順風 なる-PROG-RCN
良い順風になっているので、

グゼーバンヌメー グアンネーッシ、
gu-ZeebaN=nu-mee gu-ʔaNnee=Qsi,
御-在番=GEN-前 御-案内=する. SEQ
在番奉行様を御案内して、

チュー ウヌイチキミショーラシユルグトゥ シュン。
cuu ʔu-nui+ciki=misjoor-asj-u-ru=gutu sj-u-N.
今日 御-乗り+付け=HON-CAUS-NPST-ATTR=ように する-NPST-IND
今日、御乗り付け（御乗船）になってもらうようにする。

サリ。
sari.
もし
もし。

3-2. 在番（セリフ）

ターガヤー？
taa=ga=jaa?
誰=Q=SFP
誰かのう？

3-3. 船頭（セリフ）

シンドウーダヤビル。
siNduu=dajabi-ru.
船頭=でございます-ATTR
船頭でございます。

3-4. 在番 (セリフ)

チー、 シンドゥー、 ウチンカイ イレー。
ci=i, siNduu, ?uci=Nkai ?ir-ee.
来る. SEQ=Q 船頭 内=DAT 入る-IMP
来たか、船頭、内に入りなさい。

3-5. 船頭 (セリフ)

ウー。
?uu.
はい
はい。

3-6. 在番 (セリフ)

チャーシ チャガ?
caasi ca=ga?
どうして 来る. PST=Q
どうして来たか、船頭?

3-7. 船頭 (セリフ)

サリ、グゼーバンヌメー、カジヤ ッンマヒチジヌファ フチチミティ
sari, gu-ZeebaN=nu-mee kazi=ja ?Nma+hicizi=nu-hwa huci+cimi-ti
もし 御-在番=GEN-前 風=TOP 午+未=GEN-方 吹き+詰める-SEQ
はい、在番奉行様、風は、午未 (南) の方角から吹きつめて、

イー ジュンプー ナトーヤビーレー、
jii zuNpuu na-too-j-abiir-ee,
良い 順風 なる-PROG-POL-RCN
良い順風になっていますので、

チュー ウヌイチキミセービレー。

cuu ʔu-nui+ciki=miSee-bir-ee.

今日 御-乗り+付け=HON-POL-IMP

今日、御乗り付け（御乗船）になってくださいませ。

3-8. 在番（セリフ）

エー、シンドゥー、ウヤンマター カタジキガタン マーダ ヤシガ、
ʔee, siNduu, ʔujaNmaa-taa kataziki-gata=N maada ja-siga,
おい 船頭 親あんま-PL 片付け-方=ADD まだ COP-CEX
おい、船頭、親あんま達の片付けのこともまだであるが、

ナー ニサンニチャ マタリーヤ サニ？

naa ni-saN-nici=ja mat-ari-i=ja s-an=i?

もう 二-三-日=TOP 待つ-POT-INF=TOP する-NEG=Q

もう二三日は、待つことはできないのか。

3-9. 船頭（セリフ）

サリ、クリフドゥヌ ジュンプー、ウクリティヤ シマビラン。
sari, kuri-hudu=nu zuNpuu, ʔukuri-ti=ja sim-abir-aN.
もし これ-ほど=GEN 順風 遅れる-SEQ=TOP 済む-POL-NEG
奉行様、これほどの順風、遅れてはなりません。

フェク ウヌイチキミセービレー。

hweku ʔu-nui+ciki=miSee-bir-ee.

早く 御-乗り+付け=HON-POL-IMP

早く御乗り付け（御乗船）くださいませ。

3-10. 在番 (セリフ)

エェー、アニー。

jee, ?ani=i.

ほう そう=Q

ほう、そうか。

3-11. 船頭 (セリフ)

エー、サンルー、ウヤンマーターン ッンジンショーラチ、

?ee, saNruu, ?ujaNmaa-taa=N ?Nzi=Ns joor-aci,

おい 三郎 親あんま-PL=ADD 出る=HON-CAUS. SEQ

おい、三郎、親あんま達もお出になるようにさせて (してもらって)、

フェク ウシャク ウウガミンショーラセー。

hweku ?u-s jaku wugami=Ns joor-aS-ee.

早く 御-酌 拝む=HON-CAUS-IMP

早く (別れの) 御酌を差し上げなさるようにさせなさい (してもらいなさい)。

3-12. 小浜節 (歌) 類歌:『琉歌全集』1072番歌

ウチナカイ イモラワ ワミン ソティ イモリ

?ucina=kai ?imor-awa wami=N so-ti ?imor-i

沖縄=ALL いらっしゃる-IRCN 1SG=ADD 連れる-SEQ いらっしゃる-IMP

沖縄へいらっしゃるのなら、私も連れて行ってください。

ワミ フィチュイ ヌクチ イメヌ ナユミ

wami hwicui nuku-ci ?ime=nu naj-u-m=i

1SG 一人 残す-SEQ 御出立=NOM なる-NPST-IND=Q

私一人を残して、御出立ができるのですか。

3-13. 親阿母 (セリフ)

クリマディ ウスバ ナリスミティ、
kuri=madi ?u-suba nari+sumi-ti,
これ=LIM 御-側 慣れ+染める-SEQ
これまで御側で慣れ染めているのに、

チュー ウヌイチキミセーディ イレー、
cuu ?u-nui+ciki=miSee-N=di ?ir-ee,
今日 御-乗り+付き=HON-IND=QT 言う-RCN
今日、御乗り付き (御出帆) になると言うのであれば、

ワンネー チャーシ クラシャビーガ?
waNnee caasi kurasj-abii=ga?
1SG. TOP いかにして 暮らす-POL=Q
私はどのようにして暮らすのですか?

3-14. 在番 (セリフ)

ツヤーガ アン イレー、 ワンネー チャーシ イチュガ?
?jaa=ga ?aN ?ir-ee, waNnee caasi ?ic-u=ga?
2SG=NOM そう 言う-RCN 1SG. TOP いかにして 行く-NPST=Q
お前がそう言ったら、私はどのようにして行くのか?

3-15. ションガネー節 (歌) 類歌:『琉歌全集』1295番歌

イトウマガイン ミセラ カニティドゥ ミセル
?itumagwi=N miSer-a kaniti=du miSer-u
暇乞=ADD なさる-IRCN 予て=FOC なさる-ATTR
暇乞いもなさるなら、前もってなさるべき。

チュー ウニ ッンジリバ ムヌン ッヤラン
 cuu ʔuni ʔNzir-iba munu=N ʔj-ar-aN
 今日 御船 出る-RCN 物=ADD 言う-POT-NEG
 今日、御船が出るとしたら、物も言えない。

3-16. 船頭 (セリフ)

トー、サンルー、フェク ウサカジチ タティレー。
 too, saNruu, hweku ʔu-sakazici tatir-ee.
 さあ 三郎 早く 御-盃 立てる-IMP
 さあ、三郎、早く御盃を立てなさい。

3-17. 三郎 (セリフ)

トー、ウヤンマー、ウスバニ イモーチ、
 too, ʔujaNmaa, ʔu-suba=ni ʔimoo-ci,
 さあ 親あんま 御-側=DAT いらっしやる-SEQ
 さあ、親あんま、御側にいらっしやって、

フェク ウシヤク ウウガミンショーリ。
 hweku ʔu-sjaku wugami=Nsjoor-i.
 早く 御-酌 拝む=HON-IMP
 早く御酌を差し上げなさってください。

3-18. ションガネー節 (歌) 類歌：『琉歌全集』1296番歌

イトウマグィユ トウムティ ムツチャル サカジチヤ
 ʔituma+gwi=ju tumu-ti mu-Qca-ru sakazici=ja
 暇+乞い=SFP と 思う-SEQ 持つ-PST-ATTR 盃=TOP
 暇乞いだと思って、持った盃は、

ナミダアワ	ムラチ	ヌミヌ	ナラン
namida+?awa	mura-ci	num-i=nu	nar-aN
涙+泡	盛らす-SEQ	飲む-INF=NOM	なる-NEG

涙が泡のように溢れ上がって、飲むことができない。

3-19. 三郎 (セリフ)

エー、ウヤンマー、シュヌメーガ ウチナーカイ イメンショーレー、
 ?ee, ?ujaNmaa, sjunumee=ga ?ucinaa=kai ?imeNsjoor-ee,
 もし 親あんま 主の前=NOM 沖縄=ALL いらっしやる-RCN
 もしもし、親あんま、御在番様が沖縄へいらっしやったら、

ピングトゥニ ミチジン ウムタシミセーンドー、 ウヤンマー。
 biN-gutu=ni micizi=N ?u-mutasi=miSee-N=doo, ?ujaNmaa.
 便-毎=DAT 貢=ADD 御-持たず=HON-IND=SFP 親あんま
 船便ごとに貢物もお送りくださるだろうよ、親あんま。

3-20. 親阿母 (セリフ)

ミチジヌ クトゥン ウムランドー、 サンルー。
 micizi=nu kutu=N ?umur-aN=doo, saNruu.
 貢=GEN 事=ADD 思う-NEG=SFP 三郎
 貢物のことなど、とても思わないよ、三郎。

3-21. ションガネー節 (歌) 類歌：『琉歌全集』1300番歌

ジリヌ	ワカリジヤ	カニン	チリナサミ
ziri=nu	wakarizi=ja	kaniN	cirinasa-m=i
義理=GEN	別れ路=TOP	こんなにも	つらい-IND=Q

義理の別れ路は、こんなにもつらいものか。

アサユ ウムカジヤ イチン ヌカン
 ?asa+ju ?umukazi=ja ?iciN nuk-aN
 朝+夕 面影=TOP いつも 退く-NEG
 朝夕、面影はいつまでも立ち退かない。

3-22. 在番 (セリフ)

サンデーグワーヤ ターリーガ ウチナーカイ イカバ、
 saNdee-gwaa=ja taarii=ga ?ucinaa=kai ?ik-aba,
 三良-DIM=TOP 父=NOM 沖縄=ALL 行く-IRCN
 三良小は父が沖縄に行ったら、

シミ フディ カビ、イショー チハダン
 simi hudi kabi, ?isjoo cihada=N
 墨 筆 紙 衣裳 着物=ADD
 墨、筆、紙はじめ、衣裳、着物も

ハヤフニカラ ムタチ ヤラシュクトウ、
 hajahuni=kara muta-ci jarasj-u=kutu,
 早船=ABL 持たず-SEQ 遣らす-NPST=CSL
 早船で持って遣らせるので、

ッヤーヤ アンマートウ クマ ウウトーリヨウ。
 ?jaa=ja ?aNmaa=tu kuma wu-toor-i=joo.
 お前=TOP 母=COM ここ 居る-PROG-IMP=SFP
 お前はお母さんとここに居ておれよ。

3-23. 三良小 (セリフ)

ワミン ターリートウ ウチナーカイ イチュン。
 wami=N taarii=tu ?ucinaa=kai ?ic-u-N.
 1SG=ADD 父=COM 沖縄=ALL 行く-NPST-IND
 自分もお父さんと沖縄へ行く。

3-24. 親阿母 (セリフ)

ツヤーマディ ウチナーカイ イケー、
ʔjaa=madi ʔucinaa=kai ʔik-ee,
2SG=LMT 沖繩=ALL 行く-RCN
お前まで沖繩へ行ったら、

ワンネー チャーシ クラシュガ?
waNnee caasi kurasj-u=ga?
1SG.TOP いかにして 暮らす-NPST=Q
私はどのようにして暮らすのか?

3-25. ションガネー節 (歌) 類歌:『琉歌全集』1305番歌

フタチ ネン ワミノ ナカニ ハサマリティ
hutaci neN wami=nu naka=ni hasam-ari-ti
二つ 無い 1SG=GEN 中=DAT 挟む-PASS-SEQ
二つと無い我が身が、間に挟まれて

ククル クラヤミニ ナルガ シンチ
kukuru kurajami=ni na-ru=ga siNci
心 暗闇=DAT なる-ATTR=GEN 心気
心が暗闇になるような心地であるよ。

3-26. 三郎 (セリフ)

ウンジュマディン ターリートゥ ウチナーカイ イメンショーレー、
ʔuNzu=madi=N taarii=tu ʔucinaa=kai ʔimeNsjoor-ee,
2SG.POL=LMT=ADD 父=COM 沖繩=ALL いらっしやる-RCL
あなた様までも父上と沖繩にいらっしやったら、

ウヤンマーヤ チャーシ クラシャビーガ？
ʔujaNmaa=ja caasi kurasj-abii=ga?
親あんま=TOP いかにして 暮らす-POL=Q
親あんまはどのようにして暮らすのでしょうか。

トー、ウンジュ（注A）、クマンカイ イメンシヨール。
too, ʔuNzu, kuma=Nkai ʔimeNs joor-i.
さあ、2SG. POL ここ=DAT いらっしやる-IMP
さあ、ぼっちゃま、ここにいらっしやい。

3-27. 船頭（セリフ）

サリ、クリフドゥヌ ジュンプー、ウクリティヤ シマビラン。
sari, kuri-hudu=nu zuNpuu, ʔukuri-ti=ja sim-abir-aN.
もし これ-ほど=GEN 順風 遅れる-SEQ=TOP 済む-POL-NEG
奉行様、これほどの順風、遅れてはなりません。

フェク ウヌイチキミセービリ。
hweku ʔu-nui+ciki=miSee-bir-i.
早く 御-乗り+付け=HON-POL-IMP
早く御乗り付け（御乗船）くださいませ。

3-28. 在番（セリフ）

アー、ナシムンヌクワ ヒキワ、
ʔaa, nasimuNnuQkwa hik-iwa,
ああ 生みの子 引く-RCN
ああ、生みの子が引いたら、

チャーシ ナランサ、 シンドゥー。
caa=N nar-aN=sa, siNduu.
どう=ADD なる-NEG=SFP 船頭
どうにもならないよ、船頭。

3-29. ションガネー節（歌） 類歌：『琉歌全集』1294番歌

イチン イカリラン ウウイン ウウラリラン
 ?ic-i=N ?ik-arir-aN wu-i=N wur-arir-aN
 行く-INF=ADD 行く-POT-NEG 居る-INF=ADD 居る-POT-NEG
 行こうにも行けず、居ように居られず、

ナシグワ フヤカリヌ ムムヌ クリシャ
 nasigwa hujakari=nu mumu=nu kurisja
 生みの子 振別れ=GEN 百=GEN 苦しさ
 生みの子との別れの百の苦しさであることよ。

3-30. 船頭（セリフ）

サリ、ウメンセール（注B） エーダー、
 sari, ?umeNSee-ru ?eedaa,
 もし いらっしやる-ATTR 間. TOP
 もしもし、いらっしやる間は、

イチマディン ウナグリドゥ ウタチミセール。
 ?ici=madi=N ?u-naguri=du ?u-taci=miSee-ru.
 いつ=LMT=ADD 御-名残=FOC 御-立つ=HON-ATTR
 いつまでも御名残が立ってお尽きにならない。

フエク ウタチミセービレー。
 hweku ?u-taci=miSee-bir-ee.
 早く 御-立つ=HON-POL-IMP
 早くお立ちになってくださいませ。

3-31. ションガネー節 (歌) 類歌:『琉歌全集』1306番歌・1297番歌

フニヤ チナ トウユイ ンゾヤ スディ フィチュイ
huni=ja cina tuj-u-i Nzo=ja sudi hwic-u-i
船=TOP 綱 取る-NPST-INF 貴女=TOP 袖 引く-NPST-INF
船は (出航しようと) 艫綱を解くし、愛しい女は袖を引くし、

イチャシ ンゾ シティティ フニニ ヌユガ
ʔicasi Nzo siti-ti huni=ni nuj-u=ga
いかにして 貴女 捨てる-SEQ 船=DAT 乗る-NPST=Q
どうして愛しい女を捨てて、船に乗れようか。

イメチカバ シュヌメ グジヨ ムタチ タボリ
ʔime+cik-aba sjunume gu-zo muta-ci tabor-i
御出+着く-IRCN 主の前 御-状 持たず-SEQ くださる-IMP
(沖繩に) お出でになって着いたら、御在番様、お手紙を持たせてください。

ククル ヤシヤシトゥ ウマチ シャピラ
kukuru jasijasi-tu ʔu-mac-i sj-abir-a
心 安々と 御-待つ-INF する-POL-VOL
心安々とお待ちしましょう。

3-32. 船頭 (セリフ)

イメーヌ カージ。
ʔimee=nu kaazi.
今前=GEN 風
さあ、今の風。

3-33. ションガネー節（歌） 類歌：『琉歌全集』1299番歌

カタフ ムチャギリバ カタミヌ ナダ ウトウチ
katahu mucagir-iba katami=nu nada ʔutu-ci
片帆 持ち上げる-RCN 片目-GEN 涙 落とす-SEQ
片帆を持ち上げたら、片目の涙を落して、

ムルフ ムチャギリバ ムルミヌ ナダ ウトウチ
muruhu mucagir-iba murumi=nu nada ʔutu-ci
諸帆 持ち上げる-RCN 諸目=GEN 涙 落とす-SEQ
諸帆（両方の帆）を持ち上げたら、両目の涙を落して。

3-34. 船頭（セリフ）

イメーヌ カージ。
ʔimee=nu kaazi.
今前=GEN 風
さあ、今の風。

3-35. ションガネー節（歌） 類歌：『琉歌全集』1302番歌

シンドウシュヤ ワネ ウラミラン
siNdu:sju=ja wane ʔuramir-aN
船頭主=TOP 1SG. TOP 恨む-NEG
船頭主は私は恨まない。

マトウム ウス カジドゥ ナ ウラミュル
matumu ʔus-u kazi=du na ʔuramij-u-ru
真鱸 押す-ATTR 風=FOC もう 恨む-NPST-ATTR
（船の）真鱸を押す風こそ恨むばかりなのだ。

3-36. ションガネー節 (歌)

ンナトゥウチ ナリバ イカリドゥ タヌム
 Nnatu-?uci nar-iba ?ikari=du tanum-u
 港-内 なる-RCN 錨=FOC 頼む-ATTR
 港内になったら、錨を頼みとする。

ストウミ ヌイダシバ シンドウドゥ タヌム
 sutumi nui+das-iba siNdu=du tanum-u
 外海 乗り+出す-RCN 船頭=FOC 頼む-ATTR
 外海に乗り出したら、船頭を頼みとする。

3-37. 親阿母 (セリフ)

シユヌメーター ウーニン トゥーク ウシツンジティ
 sjunumee-taa ?uuni=N tuuku ?usi-?Nzi-ti
 主の前-PL 御船=ADD 遠く 押し-出る-SEQ
 あの方たちの御船も遠く出てしまつて、

ストウミン ウウガマラン ナタルムン。
 sutumi=N wugam-ar-aN na-ta-ru=muN.
 外海=ADD 押む-POT-NEG なる-PST-ATTR=もの
 外海の波間に見えなくなつてしまつたことよ。

3-38. ションガネー節 (歌) 類歌：『琉歌全集』1293番歌

アガト ウチナートゥ クガトヌ エエーマトゥ
 ?agato ?ucinaa=tu kugato=nu jeema=tu
 あの遠い 沖縄=COM この遠い=GEN 八重山=COM
 あんなに遠い沖縄と、こんなに遠い八重山と、

チムヌ フリムヌヤ イインバ ムシディ
 cimu=nu hurimunu=ja jiN=ba musu-di
 肝=GEN 愚か者=TOP 縁=ACC 結ぶ-SEQ
 心の狂った愚か者は、縁をば結んでしまつて。

3-39. 三郎 (セリフ)

トー、ウヤンマー、シュヌメーター ウーニン
 too, ?uJaNmaa, sjunemee-taa ?uuni=N
 さあ 親あんま 主の前-PL 御船=ADD
 さあ、親あんま、在番奉行様たちの御船も

ハイクワッキティ ウウガマラン ナトーレー、
 hai-kwaQki-ti wugam-ar-aN na-toor-ee,
 走り-隠れる-SEQ 拝む-POT-NEG なる-PROG-RCN
 もう隠れてしまつて見えなくなつているので、

フエク ウヤドゥニ ケーティ イモーチ
 hweku ?u-jadu=ni kee-ti ?imoo-ci
 早く 御-宿=DAT 帰る-SEQ いらっしやる-SEQ
 早く御宿にお帰りになつて、

グシュージヌ ティグミ シヤリンショーリ。
 gu-sjuuzi=nu tigumi sj-ari=Nsjoor-i.
 御-祝儀=GEN 手組 する-HON=HON-IMP
 お祝いの準備をされてください。

3-40. 小浜節 (歌) 類歌:『琉歌全集』1301番歌

シュヌメ ウニ ウクティ ムドウル ミチシガラ
 sjunume ?uni ?uku-ti mudur-u mici-sigara
 主の前 御船 送る-SEQ 戻る-ATTR 道-すがら
 あの方の御船を見送つて、戻る道すがら、

フラン	ナチグリヌ	ワ	スディ	ヌラチ
hur-aN	naciguri=nu	wa	sudi	nura-ci
降る-NEG	夏雨=NOM	1SG. GEN	袖	濡らす-SEQ

降りもしない夏の俄か雨が、私の袖を濡らして。

(注A) 『滝原本』では「ウンジュ」であるが、『島袋本』は「御胴は」とあるので、「ウンジョー」（「ウンジュ+ヤ」）となる。ここでは、後者の「ウンジョー」が良いか。

(注B) 『滝原本』では「ウメンセール」とするが、『島袋本』は「おまい参んしやいる」とあり、「ンマ イメンシエール」（そこにいらっしゃる）と読める。後者の読みのほうが良いか。